

あかし ひやくこうしん  
鹿嶋市指定文化財「明石の百庚申」(平成30年4月1日指定)

明石の百庚申は、青面金剛像しょうめんこんごうが掘られた石塔10基・「庚申」という文字が刻まれた石塔90基、合計100基からなる江戸時代後期(1846年～1855年)に奉納された庚申塔です。

庚申塔とは、庚申講(お庚申様)の記念などに建立された石塔で、市内の多くの地区で江戸時代から大正時代にかけての庚申塔が確認されています。

百庚申は、利根川沿いに群馬・埼玉・千葉・茨城と並ぶように所在が確認されていますが、茨城県内ではほとんど例がなく、大変貴重なものであり、市教育委員会では、明石地区(大字明石字峯401番5)に所在する「明石の百庚申」を市の有形民俗文化財に指定しました。



青面金剛像



整然と並ぶ「明石の百庚申」

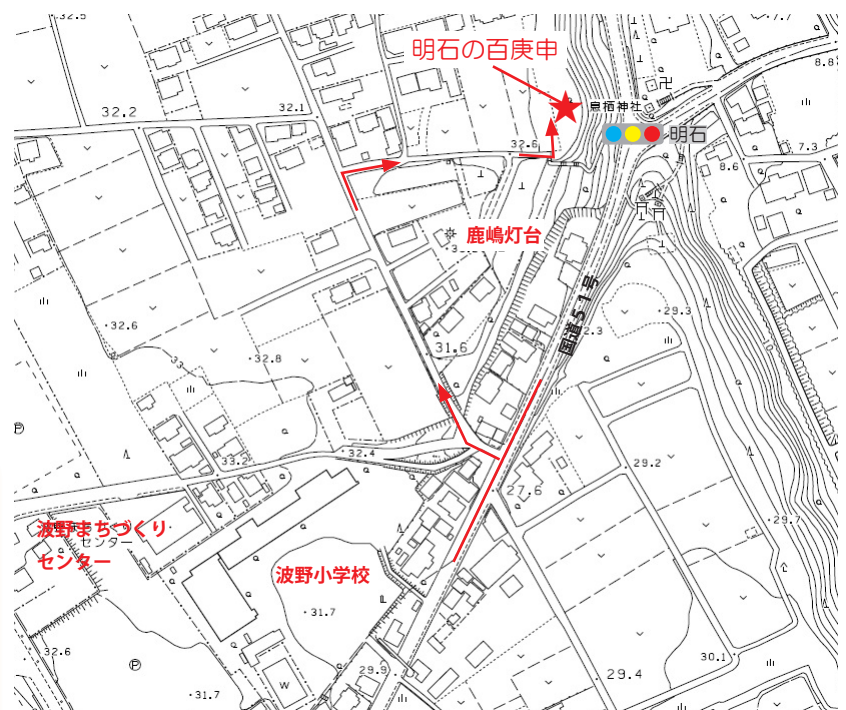


青面金剛像の周りに置かれる庚申塔

### 「明石の百庚申」への行き方

国道51号から波野小学校入口を入り、右図の矢印の通りにお進み下さい。鹿嶋灯台と墓地を右手に見ながら道を進むと台地突端手前で左に進む道があります。その道を突き当たりまで進むと「明石の百庚申」がある場所に着きます。

※道が狭いのでお車での通行はご注意ください。



#### 【問合せ先】

鹿嶋市教育委員会事務局 社会教育課  
〒314-8655 茨城県鹿嶋市平井1187-1  
TEL 0299-82-2911 (代表)  
FAX 0299-83-7894  
E-mail syougai1@city.ibaraki-kashima.lg.jp